

時代を切り拓いたキリスト者

にいじま じょう やえ

新島 襄と八重



その愛と救し



プロテスタントの日本宣教の夜明けの時代、多くのサムライたちが、聖書の真理にふれ、新しい価値観によって光ある人生を歩み始めました。その中に、大河ドラマ「八重の桜」に登場した新島襄とその妻・八重、そして山本覚馬がいます。京都という仏教の都に、キリスト教の学校「同志社」を建てた新島襄。キリスト教への偏見の中で信仰の告白をし洗礼を受けた八重。山本覚馬は、イエスの言葉にこそ、恨みや憎しみを越える新しい道があると確信して同志社設立に協力します。これまで、教科書では取り上げられなかった日本歴史の真実を、新しい視点で検証して行きます。

日時：2013年 **11**月**30**日(土) 入場無料

講演：14時～16時(開場:13時半)

会場：日本キリスト教団 **名古屋教会**

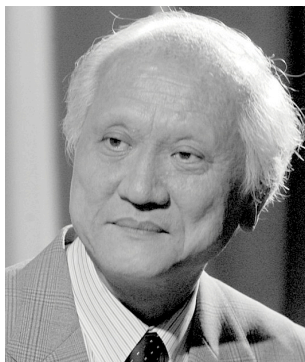
名古屋市中区丸の内3-4-5 TEL: 052-971-4940

※地下鉄 名城線 市役所駅 4番出口より 徒歩3分

桜通線 久屋大通駅 1番出口より 徒歩6分



※駐車場の数には限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用下さい。



もりべ よしまさ

< 講師 > **守部 喜雅**

1940生まれ。慶応義塾大学卒業。1977年から97年までキリスト教新聞・編集部長。99年から2004年まで月刊「百万人の福音」編集長。現在はキリスト教新聞・編集顧問。ジャーナリストとして四半世紀にわたり、中国大陸のキリスト教事情を取材。著書には『聖書を読んだサムライたち』、『サムライウーマン 新島 八重』、『龍馬の夢』、『日本宣教の夜明け』、『勝海舟・最期の告白』などがある。

主催：名古屋キリスト教協議会

問合せ先：名古屋中央教会 TEL 052-971-9012